

「微分積分の基礎」の加筆・修正等

加筆：「まえがき」の2頁に次を入れてください。

…身に付けることができると確信している。その一助となるように下の URL に問や演習問題の略解をあげる。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/appl/biseki.htm>

なお、理工系の大学や高等専門学校の高年次では、…

修正等

1. p57, l5 ↑. $\dots = \frac{1}{3}(x^2 - 1)^{\frac{3}{2}}$.

2. p63, l5 ↑. $\dots x = \frac{-q + st^n}{p - rt^n}, \dots$

3. p78, l4 ↑. $S = \lim_{|\Delta| \rightarrow 0} S_*(\Delta) = \lim_{|\Delta| \rightarrow 0} S^*(\Delta)$

4. p92, l4 ↑. $\dots z = f(x, y)$ のグラフの概形を調べよ。

5. p.94, l6 ↑. 「を累次極限という。極限值…(中略)…限らない。」の部分を変更に。

極限 $\lim_{(x,y) \rightarrow (a,b)} f(x, y) = \alpha$ が存在するとき、 a を含むある開集合内のすべての点 $x \neq a$ に対して $\lim_{y \rightarrow b} f(x, y) = \varphi(x)$ が存在すれば $\lim_{x \rightarrow a} \varphi(x) = \alpha$ となり、 b を含むある開集合内のすべての点 $y \neq b$ に対して $\lim_{x \rightarrow a} f(x, y) = \psi(y)$ が存在すれば $\lim_{y \rightarrow b} \psi(y) = \alpha$ となる。よって、これらの条件があれば、2つの累次極限は存在して、

$$\lim_{x \rightarrow a} \left\{ \lim_{y \rightarrow b} f(x, y) \right\} = \lim_{y \rightarrow b} \left\{ \lim_{x \rightarrow a} f(x, y) \right\} = \alpha$$

が成り立つ。しかし、一般には2つの累次極限が存在しても一致するとは限らないし、一致したとしても $\lim_{(x,y) \rightarrow (a,b)} f(x, y)$ が存在するとは限らない。

6. p115, l8 ↑. $+\varepsilon(h, k)$.

7. p117, l1 ↓. … 定理 11 は適用できない。

8. p117, l10 ↓. 「点 (a, b) で C^1 級」を「点 (a, b) を含む集合 D で C^1 級」にする。

9. p117, l11 ↑. 「その点で $F(x, y)$ と $f(x, y)$ は C^1 級」を「その点を含む集合 D で $F(x, y)$ と $f(x, y)$ は C^1 級」にする。

10. p135, l12 ↑. 「有界閉集合」を「有界な閉集合」にする。

11. p138, l2 ↓. ” $= \lim_{n \rightarrow \infty} \iint_{D_n} \frac{r}{(r^2 + 1)^2} dr d\theta$ ” を削除する。

12. p174, l4 ↑. (1) 「最大値 $\frac{4\pi}{3\sqrt{3}} r^3$ ($x = \sqrt{\frac{2}{3}} r$ のとき)」を「 $\frac{4\pi}{3\sqrt{3}} r^3$ 」にする。

13. p175, l6 ↓. (1) $-\frac{1}{2\sqrt{x}(1+\sqrt{x})\sqrt{1-x}}$ (2) $\frac{2}{3(x+1)^{\frac{2}{3}} \sqrt[3]{(x^2-1)^2}}$

14. p176, l5 ↑. $\tan \theta = \frac{vt}{a}$

15. p177, l7 ↓. (9) $\sqrt{1 - \frac{1}{x^2}}$

16. p178, l11 ↑. (11) $\frac{9}{2}(\log 3)^2 - \frac{9}{2} \log 3 + 2$
17. p179, l14 ↑. (3) $8a$
18. p181, l12 ↓. (4) 「グラフ： $c > 0$ のとき…」を「グラフ： $x^2 - y^2 = \frac{1}{c}$ ($c \neq 0$) が等高線」にする.
19. p182, l12, 13 ↓. (3) x_x を z_x にする (2ヶ所). (4) x_y を z_y にする.
20. p182, l7, 6 ↑. (6) $f_{xx} = f_{yy} = \dots$
21. p182, l3 ↑. (3) $|xy| < 1$ 上で連続. (5) 連続.
22. p183, l2 ↓. (1) $1 - \frac{x^2+y^2}{2\{1-\theta^2(x^2+y^2)\}^{\frac{3}{2}}}$
23. p183, l9 ↓. (3) 点 $(1, 1)$ で極小値 -1
24. p183, l13 ↓. (3) $\frac{3}{\sqrt[3]{4}}$ (4) $\frac{1}{(1+2\sqrt[3]{2})^3}$
25. p184, l4. (3) $(x^2 + y^2) \frac{1-\theta^2(x^2+y^2)}{\{1+\theta^2(x^2+y^2)\}^2}$
26. p184, l6. (1) 極小値 0 , 極大値 $-\frac{8}{5}$
27. p184, l10 ↑. (11) $\frac{243}{2}\pi$
28. p185, l16 ↓. (7) $\frac{16}{5}\pi\rho$
29. p185, l10 ↑. (5) $3\sqrt{2}\pi \log(1 + \sqrt{2})$